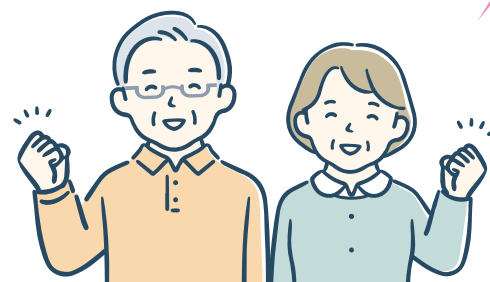


新しい人が気持ち良く活動できる

受け入れる側が大事にしたい

7つの“心得”

ちょっとしたひと工夫で、大きく変わります！



1

活動の目的、目標を伝える

「言われたことだけやってくれ」と言われるより、「こういう目的で作業をする」と伝える方がやる気も満足度も大幅アップします！



2

参加者を大切にする

メンバーのスキルや人脈の把握は必要ですが、技量で評価されたらやる気を失う可能性も。できることを手伝ってもらい、感謝して大切にしましょう。

3

欠席や途中退出もOK

仕事や家の事情で活動に毎回参加できない人も多くいます。「無理せず、できるときだけ参加してね」と伝えるだけで、心理的にも参加のハードルが下がります。

4

傾聴力を高める



新しく入った人が、色々な意見やアイデア、改善の提案を出してくれた時に、頭から拒否される話をよく聞きます。

どんな内容であっても、まずは話を聞く姿勢が大切です。

5

名札をつける

名札

「面倒くさい」と思われるかもしれませんが、新しく参加した人は皆さんの名前を覚えるのも大変です。

名札をつけている団体ほど雰囲気が明るく、活動も活性化している傾向が見られます。

6

活動を通じて学ぶ場を提供する



参加する人は活動を通じて「学び、成長したい」という気持ちがあります。弁当作りの一環で飾り包丁の入れ方を教えるといった、ちょっとした工夫を取り入れてみませんか。

7

終わったときには「また来てね」



と言われたら気持ちが良いものです。「ありがとう助かった」「今度はあなたの得意なこれをやってほしい」なんて言われたら次回も参加したくなってしまいます。

* 編集後記 *

「地域のために何かしたい」と思っている人は意外とすぐ近くにいるのではないかと思います。筆者もその一人で、まずは地域の方とあいさつを交わし、知り合いになることから始めたいと思います。

活動の担い手発掘・育成をはじめ、地域活動に関するお悩みがありましたら、右記連絡先または地区支援チームまでお気軽にご相談ください。

* 問合せ先 *

瀬谷区役所 地域振興課 地域力推進担当

TEL：045（367）5789

FAX：045（367）4423

〒246-0021

横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地

発行/令和4年4月

地域づくり

通信

第44号

令和4年4月

楽しい地域は、自分たちでつくろう。

～多様な人材を受け入れるための工夫～

自治会・町内会活動において、「担い手が見つからない・定着しない」とお悩みの方は多いのではないのでしょうか。

一方、初めての方がせっかく活動に参加しても、「内輪で盛り上がっていて、居心地が悪かった」、「改善策や新たな提案をしたら嫌な顔をされた」などなど、残念な感想を持たれることもあるようです。

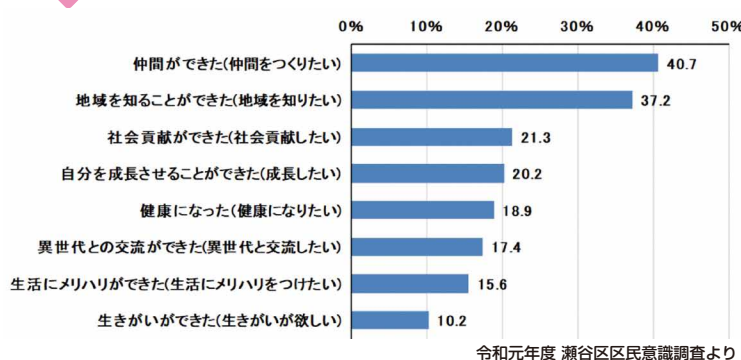
そこで今回は、誰もが参加しやすい、続けやすい地域活動にするための様々な工夫をご紹介します。



POINT

地域活動の担い手予備軍は意外に多い？！

Q.地域活動に参加して良かったこと、期待することは？



左図の調査結果から、多くの区民は、自治会・町内会活動をはじめとする地域活動に参加することに期待感を持っていることがわかります。

こうした区民の方々の期待感をうまく取り入れ、仲間を増やし、育て、担い手として定着してもらうために、どのような工夫が必要でしょうか？

～新たな人材の発掘～

「資格や特技、やる気を全戸アンケートで把握」

地域の活動にどっぷりとつかりたくはないけれども、機会があれば自分の特技や経験、空いている時間ややる気を活かしたいという人も実は多くいます。そんな人たちの力を地域で発揮してもらおうと、南瀬谷地区や瀬谷第四地区、三ツ境地区は過去に全戸にアンケート調査を実施しました。例えば南瀬谷地区では、約3000世帯のうち200を超える世帯（約7%）から、特技や趣味を地域に活かしたいという回答があり、その後、回答者を中心に話し合いを重ね「みなみせやサポーターズ」が発足しました。

趣味や特技等を登録し、必要な時に参加する仕組みで、無理せず楽しく空いた時間で地域活動のお手伝いをすることができます。



ボランティア登録者の体験会の様子

新しい風、吹いてます

宮沢連合自治会 事務局長（運営の企画・実行）

和田 岳征 さん

細谷戸で育ち、
大人になって宮沢に転居



宮沢連合自治会 広報担当（HP運営等）

徳田 智恵 さん

結婚を機に県外から宮沢に転居



—— お二人の地域活動のきっかけは何でしたか？

和田 さん 10年以上前に宮沢でスポーツ推進委員を引き受けたのがきっかけです。私は細谷戸育ちで、子どものころ参加した地域のお祭りなどの楽しい記憶があり、地域活動に携わることは苦ではありませんでした。楽しく活動していたところ当時の連合の役員に声を掛けられ、連合の活動に関わるようになりました。

徳田 さん きっかけは数年前に回ってきた子ども会の役員です。携わることで大変さもありましたが、色々な人との出会いの中で楽しさもあり、ご縁があって今年度連合の広報を担当することになりました。地域の皆さんが地域情報を知るきっかけになればと思い、宮沢連合のホームページを作成して定期的に更新しています。

—— 宮沢連合のホームページ、すっきりと見やすく、メニューが豊富ですね。
世代を超えて地域をつなぐ架け橋になりそうです。地域の皆さんの反応はいかがですか？

徳田 さん ホームページ作成は未経験でしたが、独学で作りました。役員専用のページや年間スケジュールを確認できるページもあり、活用いただいています。最初は困惑される役員さんもしらっしゃったのですが、使い方を丁寧にお伝えするとご不安が解消されて「便利だね」「良くなったね」と喜んでいただけました。



宮沢連合のホームページ

—— お仕事と家庭のことをやりながらのHP更新作業や、会議への出席は大変ではないですか？

徳田 さん 仕事が休みの土日に更新作業をしています。更新ペースは月1回程度。作業用のパソコンは連合が提供してくださって、できるときに、できる範囲で無理なく取り組んでいます。連合の会議は義務ではなく、途中退出や欠席をしても「気にしないで、お互い様だよ」と言ってもらえるので心理的負担が少ないです。

和田 さん 皆さんには「生活や仕事が第一優先」とお伝えしています。地域活動が義務になってしまっは辛いですからね。



—— 和田さんはご自身も現役世代でありながら、若い方も地域に参加しやすい環境づくりに取り組まれています。どんなことを大切にされていますか？

和田 さん ① 楽しくやる
② できることを、できる時に
③ 時代に即した活動
の3つを大切にしています。

① は、まずは自分自身が楽しんで活動すること。お手伝いしてくれる人にも楽しい気持ちになってもらえるし、地域の方も「なんだか楽しそうだな」と好意的に見てくれて、結果として仲間が集まることにつながると思います。

② は、得意なことや、時間があるときだけ、などポイントを押さえての参加にして負担を軽減しています。

③ は、前例踏襲はせず、常に時代に合った活動を心がけること。人が集まらないイベントを工夫し、自治会活動のデジタル化にもチャレンジしています。

—— 宮沢連合の小島会長は、「若い人が頑張ってくれている」といつも嬉しそうにお話されています。会長さん方とは、役割分担やコミュニケーションはどのようにされているのでしょうか？

和田 さん 地域全体の話をもとめるのはやはり会長さん方です。我々は具体的なプランを企画・遂行する「実行部隊」ですが、会議の場では遠慮なく意見を出しますね。真剣な気持ちが伝わり、皆さんも意見をしっかり受け止めてくれます。

徳田 さん 小島会長は本当にフットワークが軽く、地域のために東奔西走されています。でも、我々に負担をかけまいと多くのことをお一人で背負われているのが心配で・・・。「安心してお任せくださいね」とお伝えしています。

—— それは会長も嬉しいでしょうね。みんなで少しずつ分担しようというのは役職に関わらず大事なポイントですね。では最後に、地域で活動してよかったことを教えてください。

和田 さん この歳になって、新しい友達ができたことです。一緒にイベントを企画するなど楽しみが増えました。

徳田 さん 地域への愛着が強くなったことと、人との出会いが増えたことです。また、イベントなどの際は子どもが付いてきて手伝ってくれることもあり、親子で一緒に楽しめるのが嬉しいです。

宮沢地区では、子どもたちが楽しめるイベントも豊富（コロナの影響で中止のものもあります）



カルタ大会



宮沢大運動会



サマーフェスタ



どんど焼き

—— 和田さんから、「幼少時代の地元での楽しい思い出が、今の地域活動の原点」というお話がありました。宮沢で楽しい思い出を作った子どもたちが、将来地域を支える人材に育ってくれたら嬉しいですね。